

弘前学院大学ティーチング・ポートフォリオ

文学部・日本語・日本文学科
畠山 篤

作成日 2023年5月1日

1. 教育の責務

1986年（昭和62年）度から弘前学院大学文学部・日本語・日本文学科に採用され、本年2023年（令和5年）で37年になる。
日本文学関係の科目を担当し、主として古典（古代）を中心として、講義・演習科目を担当し、また地域学も少々担当。

2023年度担当授業

科目名	学年	授業種別	開講学期	概要
日本文学概論	1年	講義	前期	日本文学の輪郭、特質
中世文学	2年	講義	前期	義経記の正確な読み取り
古典文学演習 I AB	3年	演習	前期	古代の英雄と万葉巻二の読み取り
古典文学演習 II A	4年	演習	前期	古今集巻七・賀歌の正確な解釈
地域研究A	1年	講義	後期	岩木山信仰の諸相（神・鬼）
日本文学特論（古代）	院1年	講義	前期	二皇子発見譚の生成・構造・主題

2. 教育の理念

「詩歌（作文・論文）の道は、ただこころ（主題）確かにて、ことばの花を咲かせ、玉の中の玉を磨く（構想・叙述）べきものなり」（『筑波問答』二条良基）。
こうしてできた文学作品を対象にし、その自分なりの読み取りを、『筑波問答』の手法で文章化する。今までの研究史の成果も、自分の解釈・思いに資する形で活用する。
学習の成果は、この文章道を通じて完成度の高い作文・論文に集約され、その著作権をもつ成果を数多く蓄積することによって学力を高める。

3. 教育の方法

そのために「作文・論文作成の心得」（添付資料A）を作成し、学生・院生に配布している。その心得は、①事前指導、②書式、③題名のつけ方、④段落意識・⑤叙述、⑥推敲、⑦添削、⑧事後指導に分類して、作文・論文の作成の折りの要領を、時系列に並べている。これを学期はじめに毎回配布し、一見して作文・論文作成に取り掛かれるように工夫している。

また機会をみては、この作文の仕方の要領を学内誌などにエピソードを交えたりして、学生・院生にアピールしている（添付資料A）。

そして、この公開している方針にそって学生・院生の一人ひとりに対して具体的な添削指導を反復し、具体的な学力を養成している。この指導方法は根気と時間のかかるものだが、この指導法以外には、作文能力の向上はありえない、と思っている。

4. 教育の成果

評価について、{授業評価アンケート}（添付資料C）の結果を踏まえてしるす。

1 「学生自身の事故評価」に関して

1-2~6に関しては、学部・全学部平均値より高かった。

1-1の「この授業によく出席している」だけが、学部・全学部の平均値より低かった

2 「授業担当者にたいする評価」に関して

2-7「教員は熱意を持って授業に臨んでいる」が100%だったので、ありがたい。

2-8~12が、学部・全学部の平均値より高かったので、うれしい。

3 「授業内容に対する評価」に関して

3-13~18は、学部・全学部の平均値に近いものだった。

4 成果としての作文例

学生・院生はそれなりに指導に応じている（添付資料D）

5. 教育の改善

上記4の「授業評価アンケート」結果を踏まえて、改善すべき点を記す。

「学生自身の自己評価」に関して

1-1の「この授業によく出席している」だけが、学部・全学部の平均値より低かった
ので、出欠ももう少し対応したい。

「授業担当者に対する自己評価」に関して

2-7・10の評価は、事前の指導、発表時の指導、数度にわたる事後の作文指導の効果だ
と思う。さらに磨きをかけたい。

「授業内容に対する評価」に関して

決まって何割かは演習のもつ泥んこ試合の性格を忌避し、直ぐに正解に飛びつこうとす
る。この姿勢を何とかして突き崩し、自分（たち）なりの解釈を導く喜びを見出したい。

6. 教育の目標

短期的には、「授業評価アンケート」の結果を踏まえて、授業方法や工夫の仕方を補いたい。

しかし、文章道の向上という目標には変更がなく、この目標に達成に向けて工夫したい。

作文・論文指導は個々の学生・院生との対応なので、一斉指導をするのはかなりむずかしい。この点が、テストで達成度を測定する方法との大きな違いである。

また、教員の力量によって成果も大きく異なってくるので、教員の日頃の精進が不可欠である。教員側に書かない（書けない）事態が生じると、作文・論文指導には大きな動揺・齟齬が生じる。したがって、教員の精進も作文・論文教育の目標遂行のためには、重要な要素である。論文の作成、著書の刊行にも務めることが、教育の目標を達成するための必須条件である、と確信している。

【資料】

1. 添付資料A「作文・論文作成の心得」
2. 添付資料B「誤字の訂正や用語の使い方」
3. 添付資料C「授業評価アンケート」
4. 添付資料D「授業科目の概要」と「英雄の条件と英雄像の成立（上・下）」